

計画の名称	1 三沢市中心市街地におけるにぎわいの再生と市域における住宅の安全性の向上									
計画の期間	平成24年度～平成27年度（4年間）		交付対象	三沢市						
計画の目標	『地域住民の憩いの場として、また軽スポーツやイベント、レクリエーションの場として機能する広場を整備することで、市民交流、健康づくりに寄与しつつ、安らぎのあるにぎわい創出を図る』 『災害や居住環境への関心が広がる中、耐震化等を進めることにより、安全な住まい・まちづくりを実現する』									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・三沢市中心市街地における歩行者通行量の増加 ・三沢市における耐震性が確保された住宅の割合 									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
						当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)		最終目標値 (H27末)	
①	三沢市の中心市街地において交通量調査を実施					4,420人		7,016人		
②	住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)					79.3%		90%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	49百万円	A	49百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課において数値目標等の達成状況などにより事業効果の発現状況を検証し、結果に至った原因を分析した。	平成30年度
	公表の方法
	三沢市ウェブサイトにて公開

1. 交付対象事業の進捗状況

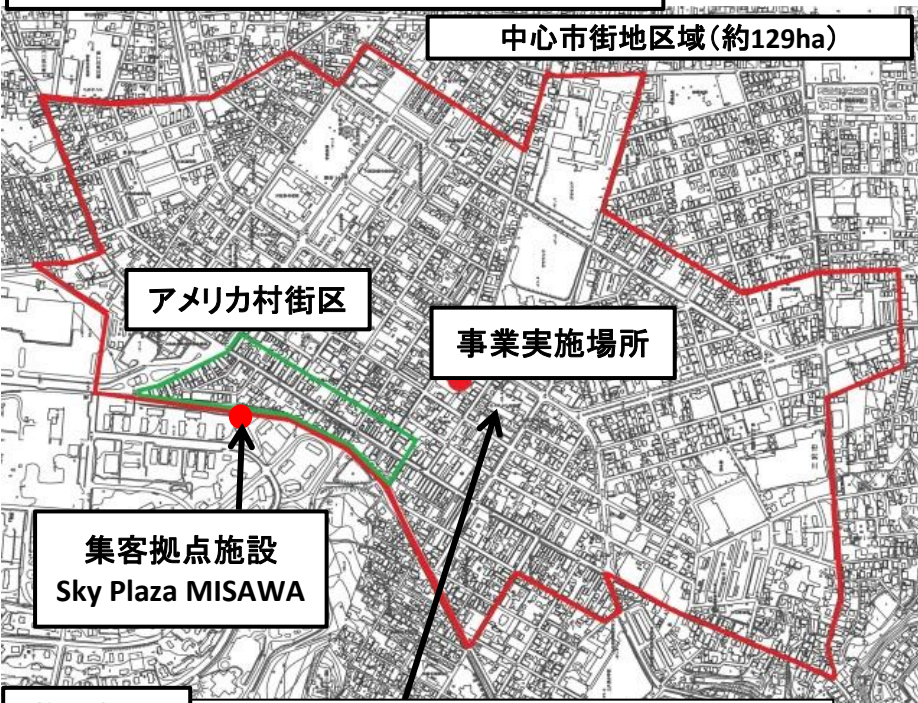
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	住宅	一般	三沢市	間接	民間	中央町地区暮らし・にぎわい再生事業	広場等の整備（4,778.25㎡）	三沢市						47	
1-A-2	住宅	一般	三沢市	直/間	市/民間	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断	三沢市						2	
1-A-3															
合計													49		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-B-1															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-B-1															

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28			
1-C-1																
1-C-2																
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C-1																
1-C-2																
※ 交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。																
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況					<p>中心市街地全体の歩行者通行量は最終目標値に届いていないものの、当該事業の整備エリアの歩行者通行量は整備前の平均値が約290人（平成23年度から平成25年度の平均値）から整備後（平成28年度）には336人と増加傾向にある。また、整備エリアは飲食街・商店街と隣接する地域にあり、本広場は貴重な地域住民の憩いの場、イベントなどに活用される場となっている。今後も地域事業者や住民により活用されることで、効果がより発揮されると考えられる。</p> <p>耐震性の確保については、目標値に届かなかったものの徐々に増加していることから、引き続き状況改善に向け取り組んでいくこととしている。</p>											
II 定量的指標の達成状況		指標①三沢市中心市街地における歩行者通行量の増加			最終目標値	7,016人	目標値と実績値に差が出た要因	<p>目標値は他事業との相乗効果により達成される数値設定としていたが、上記のとおり事業実施箇所では歩行者通行量が増加傾向にある。これは、事業後に地域事業者や商業者等が主体となり、当該スペースで自主的にイベントを開催していること、その事業が地域住民の活用頻度の向上に寄与しているためであると判断される。</p> <p>（平成27年度は通行量調査日が荒天であり、平成28年度の歩行者通行量調査の結果を用いて評価を実施）</p>								
					最終実績値	3,554人										
		指標②三沢市における耐震性が確保された住宅の割合			最終目標値	90.0%	目標値と実績値に差が出た要因									
					最終実績値	80.7%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					<p>『中央町地区暮らし・にぎわい再生事業』により整備された広場では、地域住民に向けたイベント（夏季）、クリスマスイルミネーション（冬季）などが開催されており、地域活性化の場として活用されている。特に夏季イベントには平成26年度に約600人の集客があり（H27は雨天で約200人）、冬季イルミネーションについても、一日当たり平成26年度に約150人、平成27年度には約240人が訪れるなど、認知度の向上とともに、集客の規模も向上していることが伺える。また、地域の高齢化が進むなか、早朝から日中にかけて高齢者の憩いの場（散歩などの休憩の場）としても活用されている。</p>											
3. 特記事項（今後の方針等）																
<p>地域の事業者・住民の意向や自主性を尊重しながら、憩いの場として活用できるような取り組みやイベントの開催を市が側面から支援するなどして、当該地域の通行量の向上、地域の活性化につなげる。</p> <p>市民の安心・安全に関する意識啓発を促しながら、耐震診断の支援等により安全な街づくりの実現に向け取り組むこととしている。</p>																

(図面) 市街地整備

計画の名称	1 三沢市中心市街地におけるにぎわいの再生と市域における住宅の安全性の向上	交付対象	三沢市
計画の期間	平成24年度～平成27年度(4年間)		

1-A-1 中央町地区暮らし・にぎわい再生事業



1-A-2 住宅・建築物安全ストック形成事



施設概要

